

緊急消防援助隊情報

自衛隊輸送機による緊急消防援助隊陸上部隊の輸送について

消防庁広域応援室（神奈川県 横浜市消防局）

平成30年9月6日に発生しました北海道胆振東部地震において、自衛隊輸送機による緊急消防援助隊陸上部隊の輸送を実施しましたので御紹介します。

【はじめに】

平成30年9月6日の北海道胆振東部地震発生に伴い、横浜市消防局から緊急消防援助隊神奈川県大隊（陸上部隊）を編成し、派遣しました（派遣規模は下表参照）。本州から被災地となった北海道へは、陸路を使用した進出ができないため、地理的に離れた神奈川県からの派遣

においては、部隊進出の手段が要諦となりました。

こうした中、防衛省協力のもと、自衛隊輸送機による車両輸送を行い、迅速に被災地に到着し、活動を開始することができました。

部隊		派遣期間	隊・隊員数	計
陸上部隊	救助隊	平成30年9月6日（木）から 9月10日（月）まで	2隊10人	4隊17人
	後方支援隊		2隊7人	
計		延べ5日間	4隊17人	

【自衛隊輸送機による輸送に係る調整】

6日10時30分頃、消防庁災害対策本部から横浜市消防局警防課あてに無償使用車両として配備している震災救助工作車の派遣要請について打診しました。この時点で、①自衛隊輸送機による車両輸送を行うこと、②平成25年台風26号における伊豆大島での派遣実績があるバン型の車両2台を後方支援隊として添えることを前提とし、出動に係る調整を開始しました（以降の経過は下表のとおり）。

自衛隊輸送機の離陸時刻が決定するまでの間、車両の採寸、積載資機材の積み込み、必要書類の作成、基地までのルート選定等を並行して行い、基地担当者と電話連絡による詳細事項の打ち合わせを行いました。また、車両輸送に際し、離陸前に車両燃料の抜き取り作業が発生する可能性もあったことから、埼玉県入間基地へは燃料輸送車が帯同しました（結果として燃料の抜き取り作業せず）。

救助隊は入間基地、後方支援隊は神奈川県厚木基地からそれぞれ離陸し、同日中に、被災地で合流、翌7日未明には厚真町での救助活動を開始することができました。





(9月6日時系)

時 間	内 容
11時20分	出動準備依頼（様式受信）
14時15分	出動の求め（様式受信）
14時34分	出場指令
14時50分	救助隊出動
16時00分	後方支援隊出動
16時48分	救助隊入間基地到着
17時20分	後方支援隊厚木基地到着
19時30分	後方支援隊厚木基地離陸
20時48分	救助隊新千歳空港到着
21時43分	後方支援隊新千歳空港到着

【自衛隊輸送機による輸送の検討】

民間フェリーを活用した進出と比較すると、自衛隊輸送機での進出により、被災地での活動開始を約10時間短縮することが可能となりました。本災害への緊急消防援助隊の派遣期間が5日間であったことから、部隊の早期投入は非常に重要であったと言えます。

しかし、自衛隊航空機による輸送においては、積載できる派遣隊員や資機材に限られたことで、被災地での活動や後方支援体制に課題が生じる一面もありました。そ

のため、派遣規模や被災地の状況に応じて、次発隊による不足資機材の送り込みや、他県大隊との資機材の共同使用も、被災地での活動を支える手段として考えていく必要があります。また、交代隊の出動についても、民間フェリーによる進出時間を見越して早期に準備を開始することが重要となるため、こうした調整を行う後方支援本部の役割を充実させていくことが必要となってきます。



【おわりに】

今後、自衛隊と連携した訓練等を通じて、大規模災害時における緊急消防援助隊の空輸等を検証し、より迅速な部隊進出となるよう取り組んでいきます。

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課 広域応援室
 TEL: 03-5253-7527
 横浜市消防局警防部警防課 計画係
 TEL: 045-334-6409